

漁海況情報第8報 (2012年11月8日発行)

宮城県水産技術総合センター

連絡先：0225-24-0159

※本報は「<http://www.pref.miyagi.jp/shoshiki/mtsc/>」でも公開中です。

1. 海況

宮城県沿岸から沖合の表面水温は、平年より1~2℃高く、18~19℃となっています。

宮城県沿岸から沖合の表面水温は前月よりも1~5℃降温し、全域で18~19℃台となっています。平年と比較すると、仙台湾は1℃高め、仙台湾外では38° 30' Nラインの観測点全域で2℃高めとなっています。100m深水温については、12~17℃台となっています。平年と比較すると、142° E以西では平年並みですが、142° E以东では暖水の波及により沖合ほど高く、38° 30' Nラインの142° 30' E付近では平年よりも6℃高めとなっています。[P1.水温水平分布図] [P1.水温平年偏差図]。

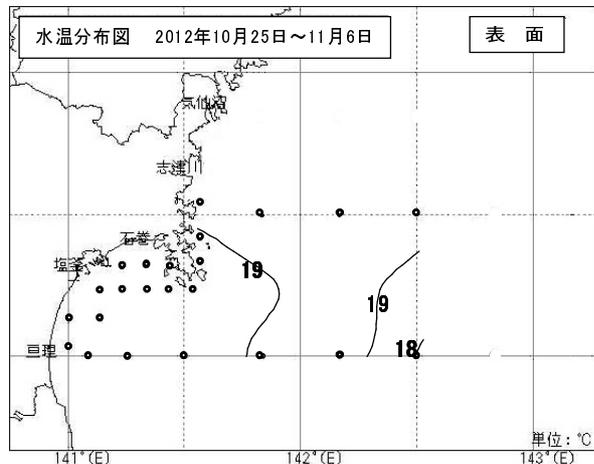
水温鉛直断面図をみると、表層から水深50m付近までの水温は18~19℃台となっており、水温差が小さくなっています [P2.水温鉛直断面図]。

(社) 漁業情報サービスセンター配信の東北海域漁海況情報によると、金華山沖は143° E付近に大規模な渦が形成され、親潮第1分枝の南下が停滞し、降温がゆるやかになっています。[P2.東北海域の海況図：(社) 漁業情報サービスセンター]。

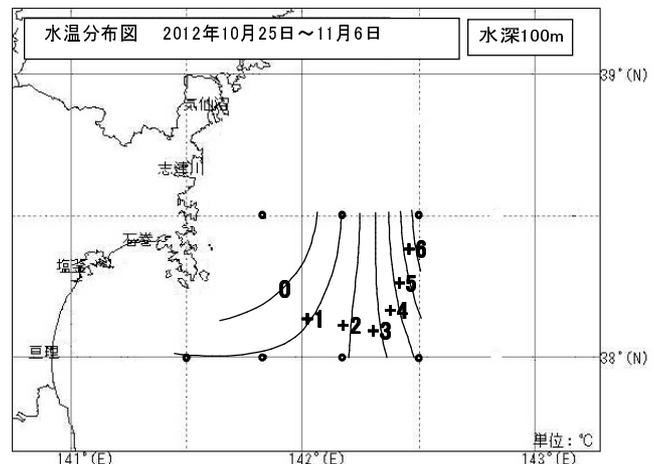
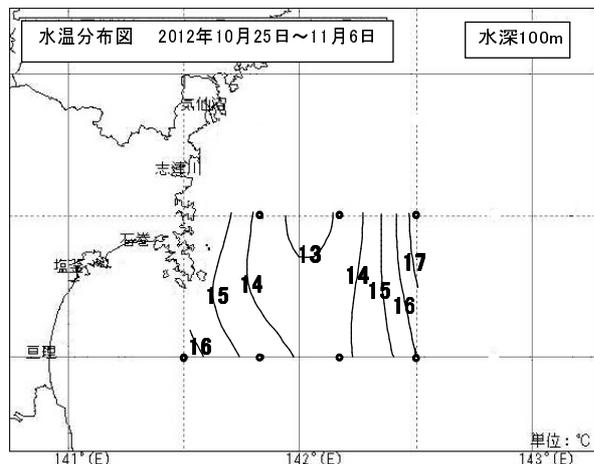
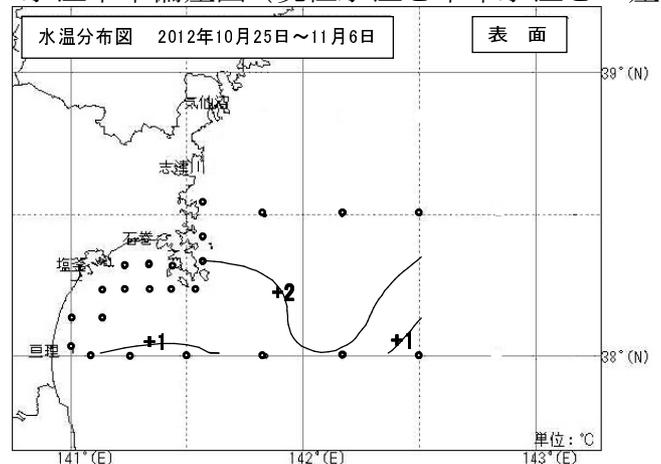
10月下旬の定地水温は、いずれも17~19℃台となっており、平年値との比較では、岩井崎、佐須浜で高め、江島でやや高めとなっています(亶理は10月18日から観測を開始) [P2.定地海洋観測結果]。

海底直上水温については、仙台湾内は15~19℃台となっています [P3. 海底直上水温図]。

・水温水平分布図



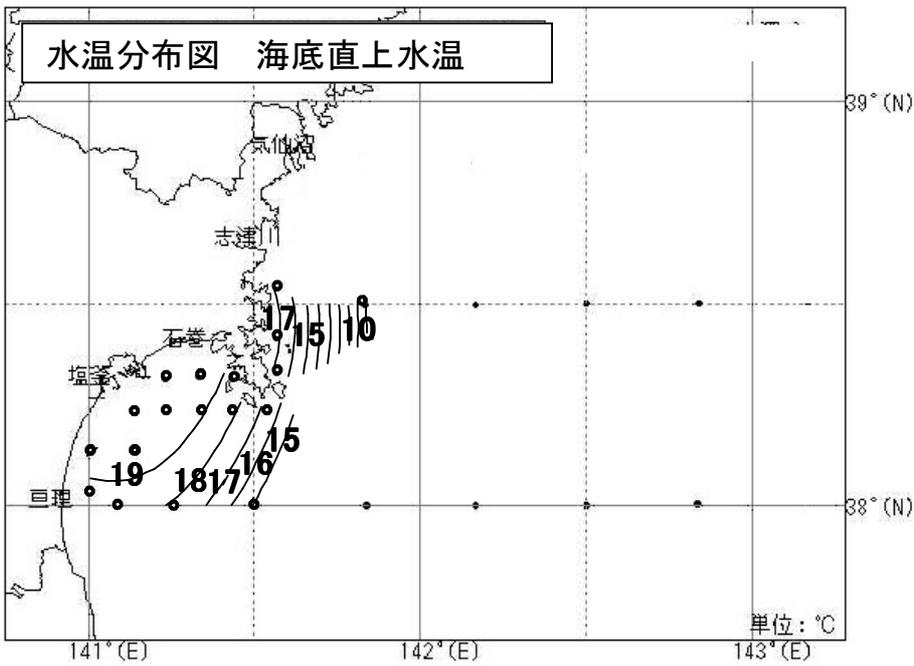
・水温平年偏差図 (現在水温と平年水温との差)



※観測は拓洋丸と翠皓(東北大学から借用)が実施しました。

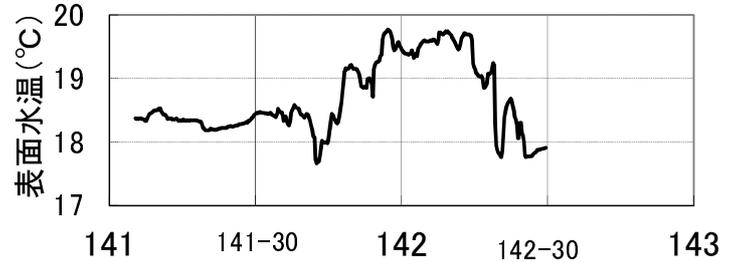
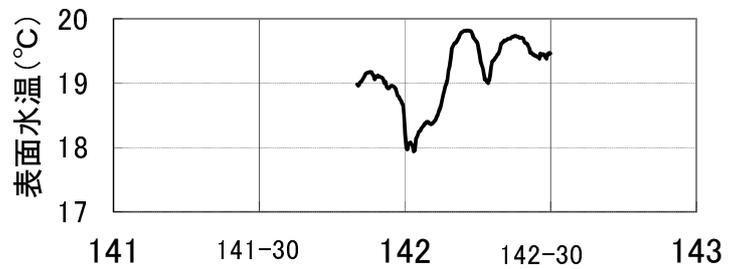
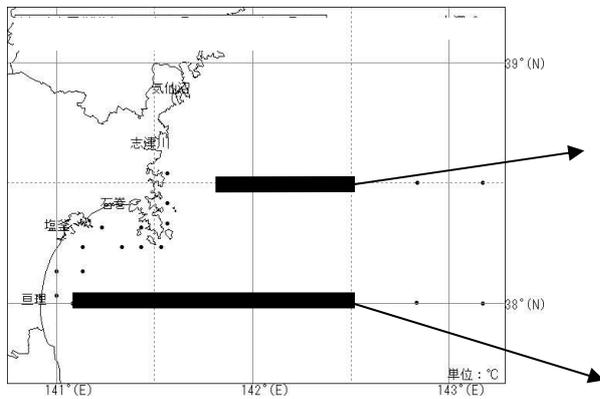
・海底直上水温図

・海底直上水温(2012年10月25日～11月6日)



2. 表層水温情報

拓洋丸に搭載している「表層モニタリングシステム」で取得した航走表面水温は、下記のとおりです。



3. 大型クラゲ情報

前月号で(10月18日発行)、岩手県久慈沖まで大型クラゲの出現が見られたことをお知らせしましたが、10月19日に本県金華山周辺定置網への入網が1個体確認されました。漁業情報サービスセンターによると(<http://www.jafic.or.jp/kurage/index.html>)、現在の出現状況は、「山形の底曳、秋田の底曳、岩手の定置などで散発的に1-3個程度の入網(11月1日)」、「能登沖の底曳で散発的に1-2個、山形県沖の底曳で散発的に1-6個、男鹿半島定置で1個。全般に少量の確認(11月5日)」となっており、まとまった出現は見られていませんが、今後の来遊に注意が必要です。当センターは9月から大型クラゲの来遊調査を実施しており、今後も来遊状況は随時お知らせしていきます。

4. 調査船運航計画

拓 洋 丸	
11月9日	カレイ類発生量調査
11月12日	カレイ類発生量調査
11月14日～15日	底曳網調査
11月16日	大型クラゲ調査
11月20日～21日	底曳網調査
11月26日～28日	沿岸定線調査

翠 皓(東北大学から借用)	
11月19日	ヒラメ着底稚魚調査
11月21日～22日	東北マリンサイエンス調査
11月26日	仙台湾定期水質調査
11月28日～30日	浅海定線調査